

『□□□に□は□らず 』

「□□□□□□に□は□らず。」と□かれている。これは□□□□□□に□して□かをする□□を□つ□の□が□□に□□しないことを□□する。□□に□□の□□を□□するものが□□するのを□が□にする□□は、これが□□□□の□□であるからである。

そして「□が□□し、□が□□する」と□ばれるものは、□□とみなされる。つまり、□が□□することが□□であるとみなされているということ。これは、□の□には□めから□を□しい□からそらすことを□□するものが□□し、これによって□が□□から□□されることを□□する。

そして□□されることからの□□とは、□が□□されることを□じて□□□に□けてもらいたいという□□な□□と□□□を□け□ることである。さもないければ□が□□してしまうことを□にするためだ。□は□□において□□しないだけでなく、□□することを□にする。つまりロー・リシマ□□□の□のためではない□の□□においてですら、トーラーとミツワーを□□する□を□くことになる。□□を□えてすべての□□を□□に□□することによってのみ、□はトーラーとミツワーを□□することができる。しかし□は□□を□えて□□する□さを□に□っているわけではない。もしそうでなければ□は□□□の□から□□することを□□なくされる。ロー・リシマからでさえも。どうかそんなことが□じてないように。

そして□は□かれた□□が□□よりも□きいと□じる。つまり□□よりも□□のほうがずっと□くあるということである。そして□はこれらの□□の□わりを□にすることがなく、□□に□□の□□に□るだろう。

□□を□えて□□しない□り、ごくわずかでさえも□□することが□にとって□しいことを□にするためだ。しかし□は□に□□することができるわけではない。そして、その□わりとは□であるのか□

そのあとで□は□□□□□□に□も□を□けることができないという□□に□する。このことが、□□□が□の□と□を□いて□を□との□□なる□□へと□□に□づかせるといいう□からの□□を□じさせる。したがって、□が□□したすべての□□が□□□□□□によってもたらされたということになる。

これは□に□ち□があった、□に□□する□□がなかったというわけではないことを□□する。むしろ、□□□を□□に□き□せたい□々のためであり、そうであるために□らはほんの□しで□□することがないのだ。つまり□□□な□どもそのままいることがないということである。それ□に、□には□□から□けが□えられる。□に□□する、□にはトーラーとミツワーと□□があり□に□が□□なのかとその□が□うことができないように。

そしてその□に□の□□がある□□に□り、□は□□から□けを□け□る。そして□に□は□□の□□においていかに□に□ち□があるのかを□される。すなわち、□□に□□する□えや□□が□に□られてくるのだ。これは□が□と1つになっていないことを□が□にするためのものである。そして□は□□するが、□□□と1つであると□じる□□よりも□がいかに□□から□れているのかを□に□にする。



さらに、□にその□□□の□□があると□う□、つまり、□□は□□□が□の□□にならいたくなかったと□うことも□□の□を□していると□なされる。□□□だけが□□の□□□であると□が□じていないという□□である。

しかし、□が□を□したときは、□ず□□し、□を□したことをすまない□わなくてはならない。しかしこの□においても□みと□しみを□しい□□で□べなければならぬ□□が□の□□をどこに□くのかということである。その□□とは、それが□□されるべき□であるためである。

そのあとで□は□く□□し「□がその□を□したのは、□□□が□を□□から□□の□□へと、つまり□□の□□である□□へと□げ□としたからだ」と□うべきである。すなわち、□□□が□に、□しみたい、そして□□の□□で□□を□いたいという□□と□□を□えたのだ。

□そしてあなたは、□が□おり□の□□になると□□に□かれていると□うかもしれない。□々はそのことを、□はゴミであると□に□めた□から□□を□たいという□□と□□を□けるが、□□はそれらから□□を□□したいのだと□が□うように□□すべきである。□

また□がいま□□の□□であり、□□においていくらかのよい□を□じるときに「いま□は□□□を□□することに□□があると□□している□□にある」と□は□ってはならない。むしろ□は、□が□□□にいま□に□られていて、それ□に□□□が□を□づけ、この□□から□が□よい□を□□において□じると□る



□そして□々は、これが□々の□□らが□ったこと□「□が□□するとき、シエヒナは□と□うか。『それは□の□より□い』」と□うべきなのである。□□く□れていることの□しみを□□□□に□び□けないことによって□は、□□からの□□とみなされる、□□□□のために□け□りたいという□□の□に□ることを□□するのである。

□が□□との□さを□□□じるとき、つまり□が□□□によって□□をもたれたことに□して□びを□じるときにも□じことが□□される。したがって、また、□は□□の□びの□な□□が、□や□□が□□の□□な□□を□くに□き□せることができ、□□の□□な□□を□い□う□□がなかったことに□する□びが、□なるシエヒナの□、□□にあるためであると□わなくてはならない。

そして、□はシエヒナを□ばすという□□が□えられることから□びを□る。これは□□にある、□□のための□びがあるとき、それは□□の□びの□□でしかないという□□と□□する。これらの□□を□じて□は□□□を□い、□□□の□□のために□け□ろうとする□□であるスイトラ・アフラに□らえられることを□□する。

しかし、□け□ろうとする□□は□□である。これが□□の□□であるためだ。□け□ろうとする□□は□として、□の□に□□するどんなものも□□□ではなく□□□によるものとされているためである。しかし、□しみを□け□ろうとする□□は、□け□えるためになるよう□□されるべきである。

すなわち、□□□が□びを□じる□、□け□ろうとする□□が□□する□しみや□びに、□□に□□があるとい

う□□をつけるべきである。これが□□の□□、つまり□□□□の□□□□に□□を□えることであつたためだ。そしてこれが□□のシエヒナの□びと□ばれる。

この□□から、□は□□に□□をもたらすことができる□□に□して□□を□めなくてはならない。そして□かに、もし□が□びを□けるなら、□□は□□で□じられる。したがって、□は□に□の□□にいることと□の□□で□ぶ□□を□□する。そして、それは□□に□□に□□をもたらすだろう。□って□の□□の□ては□□□のためだけであるべきということになる。